

昭和こじょう会便り



第2号

名古屋市高年大学昭和城会 平成7年11月発行



巻 頭 言

会 長 島崎祥一

青空の下で耕し、歩き、節制、儉約、正直、寛大と、いつも学びつづけ、老人の自己活性化に精進し、心豊かに余生を送りたいと思って居ります。これは、永い闘病生活の中で、死線を越えて学び続けた女性の、卒業文集の一節です。

そのつきつめた考え方に、心を打たれた私は、日記の巻頭言に書きとめてあります。

卒業から二年、今の私は、自己活性化に精進することが、大切な命題と思えるようになりました。また、そのような機会を会員の皆様に作る事が役員の任務と思い、未熟ではありますが、失敗を乗り越え精進したいと思います。

先日、久しぶりにクラブOB会で鈴鹿の山を歩きました。その時、84歳の先輩が、姿勢を正して歩かれる姿を拝見し、挨拶すると、「25日の行事は良い企画で、勉強になりますから、悦んで参加致します」と、その方は、昭和区の松永伊三郎氏（5期生B）でした。

72歳になった私は、そろそろ身辺整理をして、戦友たちの仲間入りかと思っておりましたが、生涯学習に挑戦する立派なお手本の方にお会いできました。

72歳と84歳の12年の差は余りにも遠い。しかし、72歳はまだ一年生である。私も自分の生き方を考え直し、心身を鍛え直して学び続けてまいりたいと思います。

行事予定表

平成8年

| | | | | | |
|----|----------|----------|------|-------|---------|
| 1. | 1月10日(水) | 役員会 | 区役所 | 10.00 | 6F第2会議室 |
| 2. | 3月6日(水) | グランド・ゴルフ | 花田公園 | 13.30 | |
| 3. | 〃月13日(水) | 役員会 | 区役所 | 10.00 | 6F第2会議室 |
| 4. | 〃月20日(水) | グランド・ゴルフ | 花田公園 | 13.30 | |
| 5. | 4月 後日連絡 | 平成7年度総会 | 区役所 | 10.00 | 6F第 会議室 |

昭和鯨城会の活躍に期待して



昭和区福祉部長

昭和区社会福祉協議会常務理事

本 田 武

昭和区社会福祉協議会は、皆さんが卒業されました名古屋市高年大学「鯨城学園」を運営いたします名古屋市社会福祉協議会と同様の団体で、昭和区を対象に住民の福祉活動を応援し、行政や民間とも連携して福祉を進める仕事をしています。

高年大学も開設から10年を迎え、昭和鯨城会の会員も100人を超える規模となっていると聞いております。2年間、高年大学で学び続けるだけでも大変だったと思いますが、卒業後も区内の仲間と交流を続け、学習や社会活動に参加されていることに心から敬意を表します。

さて、昭和区の65歳以上の高齢者人口の比率は15%を超え、名古屋市でも高齢化の進んだ区であり、学区によっては20%を超えるところのある超高齢社会を先取りしている区であると言えます。こうした高齢化の進む中、名古屋市でも福祉施策が見直され、「高齢者保健福祉計画」が昨年策定され、さらに本年9月に「第三次名古屋市推進計画」も発表され、福祉の充実が重点目標とされています。住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるようにホームヘルプサービスやデイサービス、ショートステイなどの事業の充実、高齢者の保健福祉の総合相談窓口の設置などが進められています。

昭和区では、来年4月に福原町に「特別養護老人ホーム」が完成し、地域での介護

問題にも取り組む拠点としての機能が期待されています。

このような施策の充実に加えて、高齢者が地域で安心して暮らすためには、住民がお互いに見守り、助け合える地域を作り上げる必要があります。昔からの近所づきあいが希薄になり、自分の家庭のプライバシーを尊重する時代のなかで、新たにこうした地域関係を作り上げるためには、同じ悩みを持つ高齢者同志の繋がりを広く作り上げていくことが重要となります。

高年大学で学び、卒業された昭和鯨城会の皆様には、卒業生同志の交流を続けていただくとともに、学んでいただいたことを生かして地域の中で高齢者が助け合う活動の中心として様々な事業に参加し、活躍していただければと思います。

例えば、お年寄りの散歩の補助や話し相手の活動、運転のできる方でしたら高齢者に昼食を配っているボランティアグループの配達の手伝いなど地域でできることがたくさんあります。また、社会福祉協議会の事業を進めるために財政的に支援していただく「賛助会員」として参加していただく方法もありますので、よろしくお願いします。

最後に、昭和区の地域福祉を進めるための大きな力として、今後とも昭和鯨城会の皆様のご活躍を期待し、さらに会のご発展とご健勝を心からお祈り申し上げます。

アサヒビール工場見学記



7期文B 岡戸治子

9月27日

初秋の午後千種駅前のバス停では、会員の皆さんが殆どで、貸切りの状態でバスは発車し守山のアサヒビール工場へ向かった。工場の正門を入ると広大な敷地に群立して建造された工場は壮大でありました。

休憩所で待機して居ると、清楚なスタイルのツアーコンパニオンさんが案内に来て屋外へ誘導されました。そこで、スーパードライ号に乗車、約500米の距離をコンパニオンの押すボタン操作で発進、その頃には、会員の皆さんは和気あいあい、会話がしきりに交わされていた。

初めに案内された施設は豪華なモニメントホールで、数年前他界された瀬戸の陶芸家「鈴木青々」さん作の、ビールの原料を陶壁面にされた作品を鑑賞致しました。

いよいよ工場巡りでは、オートメ化された各工程を、二階のガラス越しに見学、川の流れ（急流）の様に瓶や缶のビールが製品化されてゆき、ビール瓶はプラスチックケースに、缶ビールは箱詰にされて山積みされてゆく。

不良品の検査などの業務に専念されている人は、数える程しか居なかったが、現場で働いておられる方々の陰の人達のことも忘れてはならないと思いました。

見学後、飲酒ホールでコンパニオンの用意して下さいました各テーブルには、新製品のビール「秋の収穫祭」や、お馴染みのスーパードライ・サイダー・ジュースに、

おつまみまで添えられてあり、暫時、疲れをいやすことができました。試飲会の時間が過ぎますと、机上には空瓶が乱立して飲酒の量は可成に達したようです。

日頃酒に弱い私も、コップに三分の一ほど戴きましたが、飲めないのに仲間に入れて頂き楽しい一時を過ごすことができ、更に、ビールの美味しい注ぎ方、飲み方、取扱い（保管方法）などの説明を受け、大変勉強になったと思います。

帰りには売店に立ち寄り、おつまみに出たスモークチーズを土産に買い求めました。このような楽しい企画を設けて下さいました役員の皆様に感謝いたします。更に、アサヒビール株式会社のお心くばり、有り難うございました。

健康は歩く事から

8期生A 磯村兼春

昭和鯨城会の区内には、歴史と出会う街道が多々あります。

- (1) 御器所台・寺社コース (約3.0Km)
- (2) 鶴舞公園・古墳コース (" 3.5Km)
- (3) 檀溪・街道コース (" 4.5Km)
- (4) 川名山・船若台コース (" 5.0Km)
- (5) 八事山・五重塔コース (" 5.0Km)

以上の5コースが、名古屋市教育委員会に選定されております。

健康は先ず歩く事から、一人でも出来ま

すから早速実行しましょう。

私も在学中は「歩いて知ろう会」のクラブに所属して居りましたが、途中で在る寺社に立ち寄り、由来歴を聞くのも楽しみでした。

「ゴルフも下手な人ほど、健康です」と。

毎月G・ゴルフが花田公園で開催されております。皆さん、健康維持のために、是非、ご参加下さい。

昔の昭和区

8期文B 柴田 武

1. 御器所の由来

「吾妻鏡」の文治 6年(1190)に御器所という地名が出ていて、御器所保(ごきそのほ)がありました。この「保」というのは、荘郷、と並ぶ行政単位で、この御器所保は熱田神宮の神領で、神事に用いる土器を調達するために御器所と名付けられたと言われています。神事などに用いる道具を製作する職人がいた所で、その職人達が特定の負担をするのと引き替えに、年貢などを免除される給免田を出発点として成立した国衙領(こくがりょう)であると考えられているものです。この国衙領は荘園化せず、国衙の支配下におかれた国領です。

2. 御器所城

御器所には三つの城がありました。第一は吉野右馬允(うまのすけ)の居城であり、第二は服部将監(しょうげん)の城、第三は、佐久間美作守(みまさかのかみ)の居城である。

この三つの城が御器所西域にあたり、

尾陽神社の地にあったものである。

3. 川名城

川名には、川名北ノ城と川名南ノ城があり、規模はいずれも1000坪程度のもので、佐久間一族の居城であった。

4. 伊勝城

伊勝城は、佐久間盛政の居城であった。

5. 昭和区の七つの村々

今の昭和区の地域には七つの村があった。御器所村、川名村、石仏村、伊勝村、藤成新田、八事村の一部、前津小林村の一部である。

6. 村の人口

徳川末期(1810)頃の村の人口は、尾張徇行記によると、次のようになっている。

| (村) | (人 口) | (戸 数) |
|-------|-----------|---------|
| 御器所 | 1 2 7 9 人 | 3 2 6 戸 |
| 川 名 | 8 9 5 | 1 9 0 |
| 伊 勝 | 2 9 0 | 6 3 |
| 八 事 | 3 4 5 | 8 0 |
| 石 仏 | 3 4 9 | 8 0 |
| 藤成新田 | 1 5 5 | 3 4 |
| (合 計) | 3 3 1 3 人 | 7 7 3 戸 |

(資料：昭和区誌)

☆ 区会活動状況

1. 10月10日 八事やろまいか祭

参加人員 25名(内女性 7名)

全員完歩

☆ 会長島崎氏が宣言文を読まれました。

2. 10月25日 研修会及び懇親会

研修会 参加者 23名

懇親会 参加者 19名

「典子は、今」を見て

第13回 7生B 伊藤晴義
昭和区の福祉まつりの前日祭として、26日
昭和区会議室において「典子は、今」とい
うサリドマイド禍を克服した辻典子さんの
子ども時代から青春の旅立ちまでを描いた
映画が上映された。

身障者問題をテーマに秀作を発表してき
た松山善三氏が、国際障害者年に自らメガ
ホンをとった映画です。

サリドマイド児、辻典子さんが、映画を
通じて障害者のことを認識してもらえたら
という決意のもと、自ら出演した映画です。

両手無しで生まれた典子にたいし、母親
の温かい愛情、小学校入学に際しての校長
の決断、担任の先生や学友の励ましを受け
て、多くの障害を自分の努力で乗り越えて
いく典子の生き様を見ていると、涙なしで
は見られない。

普通の生徒に混じってランニングする姿、
足を使っての洗面、食事、さらに、足を使
ってミシンの針に糸を通す姿には感動した
が、更に、ポケットから財布を出して切符
を買えない典子が、人々の助けを得て目指
す友の家を訪ねることができた。

会長横田女史は、サリドマイド禍を克服
した典子さんでも、出来ない事は沢山あり
ます。私たちの回りには、身体の不自由な
方は沢山おられます。皆さん それらの人
に頼まれた時には、気持ち良く進んで手を
貸してあげてください、と結ばれた。

その時、私はハツとした。私も左脚が不自
由ですがゴルフがプレー出来たのは友達の
勇気ある親切。御嶽山に登山出来たのは、

頂上近くで、喘ぎながら登る私の姿を見
ても手を貸すこともなく、五メートルほど後
ろから私の姿を見守る先達の目があった。

典子とて、多くの人々の温かい手助けが
あったればこそ、と思いました。

秋の研修会

10月25日快晴に恵まれ桃巖寺のユニーク
な和尚のお話を聞き、名大校内の文部省核
融合科学研究所を訪れました。

担当教授より核融合の未来について、ご
懇篤なる説明を聞きました。

「核融合」は、核分裂より安全でクリーン
な新しいエネルギーとして期待されていま
す。現在の原子力発電所（原子炉）ではウ
ランのような重い原子核が分れたとき（核
分裂）のエネルギーを利用しますが、核融
合では水素のような軽い原子核を一つに合
わせたとき（原子核の融合）のエネルギー
を利用します。

ちなみに、核融合の燃料となる重水素は、
海水中に豊富に存在しますと説明され、雷
はプラズマ現象であり、そのプラズマの閉
じ込め方式として、ヘリカル型の研究を続
けておられました。

核分裂によるエネルギーに代わって無害
な核融合によるエネルギーがもたらされる
のは二十一世紀半ばと聞きました。

講演後、研究室においてプラズマの瞬間
閃光を見せて頂きました。

教授や研究員の方々の努力により安全な核
融合によるエネルギーが、一日も早く供給
されることを願いながら研究所を後にして、
懇親会会場へ向かいました。 編集委員

グランドゴルフ大会

秋はスポーツのシーズン。11月1日(水)昭和競城会の年1回の「グランドゴルフ大会」の日がやってきた。今朝は、低気圧の通過の影響で風は強めだったが、澄みきった青空は気持ちが良い。日頃ホームグラウンドの花田公園で、腕を磨いた成果を発揮しようと元気潑刺の面々の勢ぞろい。24名の参加。(競技参加22名)

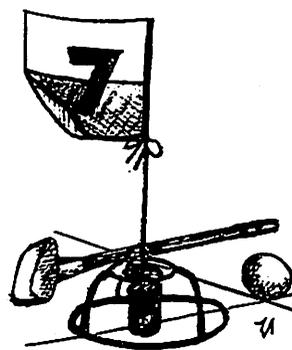
初めに、島崎会長の開会宣言。続いて、伊藤秀雄競技委員長よりルールとマナーの説明があり、一同納得。引き続きラジオ体操で身体をほぐし準備OK。

委員長のスタートの合図で4ヶ所よりそれぞれスタート。標準コースでプレーするのはほとんどの人が初めてで、50米先のホールポストが小さく見える。あまりの力みでヘッドアップあり、チョロあり、悪戦苦闘のさなかに「ホールインワンだぁ」と歓声が挙がる。それぞれ個性のあるフォームで楽しんでいる光景は、実に素晴らしかった。

競技は予定通り終了し成績発表。それぞれの賞品を受取り無事解散。 山本記

☆ 第2回G・ゴルフ大会成績表 (於吹上公園野球場)

| 順位 | 氏名 | スコア | ホールインワン賞 |
|-----|-------|-----------|----------|
| 優勝 | 山本 保人 | 22/24 T46 | 春日井正幸 |
| 2位 | 蟹江みちゑ | 22/25 T47 | 蟹江みちゑ |
| 3位 | 岩田 劔次 | 28/23 T51 | 岩田 劔次 |
| B・B | 市野 幸枝 | 39/35 T74 | |



☆ 月例G・ゴルフ成績中間発表 (於花田公園) (9/6 ~11/15)

| 月日 | 男女 | T | ベストスコア | ホールインワン |
|--------|--------|-----|-----------------|------------------------|
| 9月6日 | 13名 7名 | 20名 | 磯村兼春 12/24 T36 | 2回磯村兼春、伊藤晴義、柴田 武、出口陽子 |
| 〃月20日 | 12名 6名 | 18名 | 長戸俊郎 19/24 T43 | 長戸俊郎、伊藤晴義、柴田 武 |
| 10月4日 | 9名 6名 | 15名 | 山本保人 22/17 T39 | 2回磯村兼春、田中美代子、伊藤晴義、山本保人 |
| 〃月18日 | 9名 6名 | 15名 | 蟹江みちゑ 24/22 T46 | 蟹江みちゑ、伊藤 弘 |
| 11月15日 | 12名 6名 | 18名 | 竹内銀蔵 16/22 T38 | 武内銀蔵、山本保人、伊藤 弘、澤木東秀 |

☆ 編集後記 第2号をお届け致します。題字 春日井正幸氏、カットは創刊号に続いて廣江昭二氏のお世話になりました。厚くお礼申し上げます。編集委員一同
編集委員 伊藤晴義、島崎祥一、山本保人、柴田 武